

差の存在する爲、彼自身この結論に誤謬あるこを感じてゐます。

若し最近の探究がこれ等流星の双曲線速度なる事を確定するに到らば、前述の彗星軌道と連絡した四つの古典的一致の一つは疑問として保留せねばならぬ事をつけ加へる必要があります。然し！これが決定的な判断は將來の研究にまたねばなりませんまい。(1928. 1. 16)

日本にあるレプソルド製の天文器械

1. 子午環	1879 (明治十二年)	東京天文臺
2. 子午儀	1881 (ク 十四) 年	東京天文臺
3. 可逆振子	1894 (ク 廿七) 年	測地學委員會
4. 〃	1895 (ク 廿八) 年	測地學委員會
5. 水平振子	1896 (ク 廿九) 年	震災豫防調査會
6. 〃	1899 (ク 卅二) 年	京都帝國大學
7. 基線	1903 (ク 卅六) 年	測地學委員會

第19世紀から今20世紀へかけて獨逸 Hamburg で活躍した有名な天文器械製造者 Repsold 家は1919年に Johann Adolf Repsold と Oskar Philip Repsold と二人の兄弟が死んで此の有名な工場は閉ぢられた。前後 120 年間に多くの天文器が此所で作られたが、其の中で我が國に渡來したものは上の通りである、(Vierteljahrs schrift d. A. G. 第62卷より)

今 春 の 定 期 總 會

從來總會はいつも關西の地で開かれました。然るに御承知の如く本會は關東方面にも多數の熱心な會員を持つて居ます。で今春の大會(四月初旬)は東京で開いてはさうかき云ふ様な話を耳にいたしました。若し大方の御賛同を得れば本會に於ても勿論異論はございません。至急會員諸氏の御意見を伺ひたいと思ひます。其の上で詳細は四月號に御報告申し上げます。